RANDO Style

CR-Z [ZP1]

問 エアロテックジャパン
☎072-838-7744
http://www.aero-tech.co.jp

PRICE LIST

フロントアンダースポイラー	3万4650円
サイドステップ	3万9900円
リヤサイドパネル	2万9400円
ゲートスポイラー	2万9400円
LEDデイライト&カバーキット	2万9400円※1
リヤセンターディフューザー	3万3600円※2

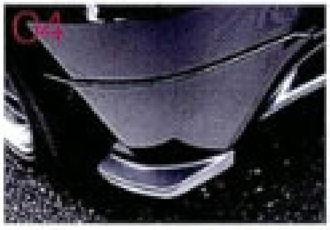
※1 β専用となります。
※2 純正近似色(ガンメタ)ペイント済みは4万6200円。

ボトムにプラスしたボリュームにより安定感ある上質なGTルックを提案する

01 両サイドにカナード形状を取り入れながら、最小限のボリュームと張り出しで構築したフロントアンダースポイラー。ボディサイズもノーマル同寸を維持していて、派手さをおさえたGTルックを完成させる。両サイドのウイング部も、ノーマルバンパーのプレスラインを意識してデザインするなど、かなり凝った造形になっている。

02 フォグランプが装備されていないβモデルユーザーに、待望の注目アイテムが登場。スマートにLEDデイライトをインストールするため、フィン形状のパネルにLEDを内蔵。ナイトステージでのアピール度を重視するユーザーには必須のアイテムとなりそうだ。

03 サイドセクションにも「ボトムに追加するだけで、ほどよくボリュームが追加できるエアロ」としてスポイラーを設定。ノーマルのサイドパネルを残し、下部にプラスオンするだけなので、ボディバランスを崩すことなく高い一体感をキープしている。



04 リヤ両サイドには、フロントアンダースポイラーやサイドスポイラーと共通した意匠があたえられたリヤサイドパネルを用意する。ちいさなパーツだが、全体のバランスをととのえるために欠かせないパーツだ。

05 リヤのボトムパーツを装着したときに生じる、ボリューム差を埋めるために開発されたゲートスポイラー。ノーマルのフォルムをできるだけ残すため、最小限のスペースとボリュームで構築されているのがポイント。もちろん、ノーマルのハイマウントストップランプが問題なく使える。

06 デイライトとならび、LEDマニアの注目を集めそうなのがこのリヤセンターディフューザー。製品に付属のLEDバックフォグをさりげなく取りこんだデザインが最大の特徴。わずかに張り出したフィン形状のデザイン処理も重要なアクセントとなっている。

デイライトやバックフォグ LEDパーツも豊富に設定

「CR-Zはスポーツモデルとして非常に完成度の高いスタイリングがあたえられたクルマですから、ノーマルのデザインをできるかぎり残しながら、満足度を大きく引きあげることのできる造形をめざしました」と、ランドスタイルからCR-Z用ボディキットをデビューさせたエアロテックジャパン。

バンパーの裏側に固定するアンダースポイラータイプとすることで、ハーフスポイラーにありがちな違和感を払拭しているのがポイントだ。しかも、車幅や全長といったボディサイズはもちろん、最低地上高もノーマルとまったくおなじサイズを確保しつつ、しっかりとGTルックが表現されている。

CR-Zに関しては、基本的にフロント、サイド、リヤサイドパネルといった主要パーツだけで、車体ボトムにほどよくボリュームをあたえ、安定感あるフォルムが構築できるように設計している。しかし、今回は「さりげないアクセントをくわえたい」と、LEDパーツも積極的に導入。ナイトミーティングなどで大きな武器となるハズだ。

PHOTO：清水良太郎／REPORT：正松本 宏